

修郎先生の事件簿

就労ビザ専門会社の現場から

佐生修郎(さしやう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスをを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木一郎 大変だ、大変だ、スカルノハッタ空港第三ターミナル(T3)の入国審査場に「ITAS ONLINE専用ルーム」が新設されたんだって?!

佐生 そうですね。去年の12月にオープンした。「312就労ビザ」で入国する人のための専用ルームだ。

鈴木 専用ルームって、そこで尋問でもされるの? 佐生 そんな尋問はされないよ。312就労ビザ向けの入国審査カウンターが2つ部屋の中に設置されていて、そこで入国審査とITAS申請のための写真撮影と指紋採取をするだけだよ。

鈴木 それだけなら良いや。実は来週、短期の支援者として河村君が福岡から来るんだよ。

佐生 あのバスケの得意な河村勇輝君か? 彼はインドネシアをはじめていろいろ? 鈴木 そう。だから入国審査の状況を前もって教えておいてあげたいんだ。まずは、その専用ルームってどこにあるの?

佐生 広い入国審査場に入国審査カウンターがスラッとして並んでいるよね。そのカウンター群の右端の奥にある。白い壁に「ITAS ONLINE」って案内板が出ているからわかりやすいよ。

鈴木 部屋の中はどんな様子なの?

佐生 入室すると待合の椅子が10脚くらい並んでいる。その椅子に座って順番

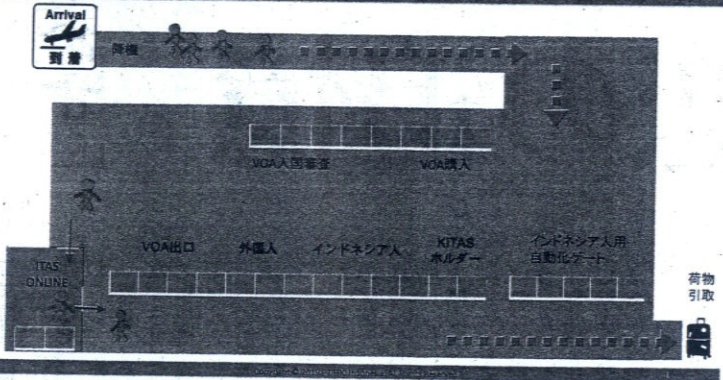


小池雄一

待ちをするのだけど、誰が待ち行列の先頭で何処が最後尾か分かりにくいんだ。でも、まあ、阿吽の呼吸で自然と順番に審査してもら

ITAS ONLINE専用ルーム!?

スカルノハッタ空港ターミナル3(T3)入国審査カウンター状況



※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気をつける点についての説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自の判断でご検討ください。

佐生修郎 心得えの条

- 一 スカルノハッタ空港T3に、312就労ビザで入国する外国人向けの「ITAS ONLINE専用ルーム」が新設された。
- 二 専用ルーム内では入国審査とITAS申請手続きを行うが、写真撮影の際の立ち位置に気を付けて背景が全面赤の写真となるようにするとのこと。

えるけどね。

鈴木 相変わらずフワツとしているね。

佐生 自分の番がきたら審査カウンターに進んでパスポートを審査官に差し出す。その後は入国審査官の指示に従い写真撮影と指紋採取だ。それで横の出口から部屋を出て完了さ。

鈴木 とにかく臨機応変にやるぞって臨めば何とかなりそうだね。特に注意する点はないの?

佐生 あまりないけど、あるとすれば写真撮影の際の立ち位置に気を付けることだね。審査カウンターに向

かって立った自分の背後に赤い布が貼ってある。その赤い布が背景になるよう、立つ位置を移動してから写真を撮られることだ。そうでないと背景が半分は赤で、もう半分は後ろの人影や椅子が写り込んでしまうよ。

鈴木 審査官側がカメラ

53歳。

の向きを調整したりすれば良いじゃないか。相変わらず横柄でいい加減な仕事をしているね。

佐生 おっしやる通りだ。こんど空港に行くときに抗議してくるよ。写真の背景半分に人影が写り込んだITAS ELEKTRONIKのサンプルを持って行ってね。

鈴木 そうだよ。今年は、少しずつでも当局の仕事のやり方を良くしていく為の行動を起こす年にしようね。

X X

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「一夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。